

令和7年度

事務事業評価表 (令和6年度 の実績評価)

記入年月日
令和7年4月1日

事務事業名		農業委員会運営事業				事業区分		担当			
						新規/継続	継続	事務事業No.	040104000795		
						単独/補助	補助		050401		
政策体系上の位置付け								所属課	農業委員会事務局		
政策体系	総合計画の施策名	0401		農林業の振興				課長名			
	政策名	04		活力ある産業のまちづくり				グループ	農業委員会G		
	施策名	01		農林業の振興				担当者名			
	手段名	04		④農村環境の保全							
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	06	01	01	02	00	農業委員会事業				
法令根拠	農業委員会等に関する法律 茨城県補助金等交付規則						単年度繰返し (昭和26年度~)				
								☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要											
手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順					
	農業委員会だけが専属的な権限として行う、農地法等により農地の権利移動・転用許認可を主とする法令業務と、農業者の代表機関として農地の利用集積、農業生産、農業経営に関する調査、農業及び農業者に関する情報提供等の任意業務と、その他、農業及び農業者に関する意見公表、他の行政庁に対する建議、諮問に応じた答申を行っている。 農業委員は18人、農地利用最適化推進委員は33人で構成されている。					・農業委員会総会の開催 (原則毎月25日) ・農業委員会の権限に属する申請書等の受付 (6日から10日) → 記載事項等の審査 → 農業委員との現地調査 → 総会資料の作成送付 → 総会開催告示 → 総会開催 → 許可書・証明書交付 → 議事録の作成 ・届出書の受付 (随時) → 受理書の発行 → 総会に報告					
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移											
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)			単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	
・農業委員会総会の開催 ・申請書受付 → 記載事項審査 → 現地調査 → 総会資料作成 → 総会開催告示 → 総会開催 → 許可書・証明書交付 → 議事録の作成 ・届出書の受付 → 受理書の発行 → 総会に報告		許可申請・届出受付件数			件	464.00	523.00	523.00	523.00	523.00	
		総会開催数			回	12.00	12.00	13.00	12.00	12.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	
農業委員会		桜川市農地面積			ha	5,540.08	5,538.30	5,538.30	5,538.30	5,538.30	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)			単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	
農業委員会の運営を円滑にする。		農業委員会総会の回数			回	12.00	12.00	13.00	12.00	12.00	
		農業委員会で決定した案件数/受付数			%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(3) 投入量 (事業費) の推移					05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定総投入量	
投 入 量	事業費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	12,789	7,694	6,860	6,860	6,860	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	8,195	9,501	9,930	10,335	-6,860	0	0
	事業費計 (A)			千円	20,984	17,195	16,790	17,195	0	0	
	正規職員従事人数			人	6.00人	6.00人	6.00人	6.00人	0.00人		
06年度事業費 実績 (千円)					07年度事業費 予算 (千円)						
01 報酬		14,976			01 報酬		14,976				
08 旅費		938			08 旅費		1,016				
09 交際費		50			09 交際費		50				
10 需用費		857			10 需用費		373				
11 役務費		262			11 役務費		262				
13 使用料及び賃借料		98			13 使用料及び賃借料		99				
18 負担金補助及び交付金		14			18 負担金補助及び交付金		14				
合 計					17,195						
合 計					16,790						
(4) 当該年度の実施内容					07年度の事業内容		08年度の事業内容		09年度の事業内容		
※年度ごとに事業内容を記入する					・農業委員会総会の開催 (原則毎月25日) ・農業委員会の権限に属する申請書等の受付 ・届出書の受付 (随時)		・農業委員会総会の開催 (原則毎月25日) ・農業委員会の権限に属する申請書等の受付 ・届出書の受付 (随時)		・農業委員会総会の開催 (原則毎月25日) ・農業委員会の権限に属する申請書等の受付 ・届出書の受付 (随時)		

事務事業名	農業委員会運営事業	事務事業No.	40104000795	所属課	農業委員会事務局
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 農業委員会は、昭和26年7月農業委員会等に関する法の制定により発足した。農家の地位、農業生産力の向上、農業経営の合理化を図るという目的で設置された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ この事務に関する意見や要望は特に寄せられていない。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 農業委員会の運営を健全に行うことにより、農業の振興、農地の保全に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 農業委員会等に関する法律で定められている所掌事務について、審議する機関の事務運営であるため市が行わなければならない。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 申請を受付たものはすべて処理されている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法定事務のため廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 法定事務のため統廃合等はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費のほとんどが経常経費であり、ここ数年経常経費の削減を進めており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 農地の売買、賃借、転用を条件希望する者は申請することができる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 月によって案件の数にばらつきがあったが、毎月の総会は滞りなく開催できた。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
	(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	--